

こどもの ほんだな

大阪市立図書館子どもの本棚委員会編

大阪市立中央図書館

2025



は し が き

2025年4月、大阪・関西万博が開幕します。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。未来社会の担い手になる子どもたちは、この万博でどんな未来を夢見るのでしょうか。

ひとりが経験できる物事には限りがありますが、その限界を押し広げるのが読書の力です。本を読むということでひとは「個」の枠を超え、様々な知識やものの見方、考え方に触れることができます。日ごろ目にする昆虫や草花などの秘密、行ったことのない遠い国の暮らし、自分ではない「誰か」の日々の出来事も、ページをめくれば自分のものになるのです。まずは一冊の本を手に取り、身近な物事から始めて様々な事象に興味を持ち、見聞を広げることで、新しい世界を創りあげてほしいと願います。

「こどものほんだな」には、毎年新しく出版される児童書の中から大阪市立図書館の職員が選んだものを掲載しています。子どもたちにより良い読書体験を、そしてより良い未来社会を。そう願いながら、今年も「こどものほんだな2025」をみなさまのもとにお届けします。

大阪市立図書館子どもの本棚委員会

●「大阪市 LINE」でおすすめの絵本をご紹介します！

「大阪市 LINE」の「子育て」>「こどものほんだな」のメニューから、大阪市立図書館子どもの本棚委員会が選定した、おすすめの絵本や児童書を紹介しています。対象年齢やジャンルなどで検索もできます。



大阪市 LINE

凡 例

1. この目録に収録した図書は、2023年12月から2024年11月までに選んだものです。
2. 図書は、ジャンル別に分け、対象年齢順に並べています。
段階ごとに点線で区切り、同一区分の中は、書名の50音順に配列しています。対象年齢の区分は、次の6段階です。
赤ちゃん～
幼児～
小学校低学年（小・低学年と表示）～
小学校中学年（小・中学年 〃 ）～
小学校高学年（小・高学年 〃 ）～
中学生～
3. ジャンルは、次の6項目としました。
①本の世界のはじめに（絵本）
②物語
③よみがえってきた物語
④歴史・伝記物語
⑤詩・ずいひつ・記録
⑥知識の本
4. ☆印をつけてあるものは、絵本の形式をとっています。
◆印をつけてあるものは、行事など多人数に向けての読み聞かせに適していると判断したものです。
5. 図書に関する記載事項は、次の順になっています。
書名／著編者・画家・訳者
※著編者・画家・訳者は、それぞれ著・絵・訳と表記を統一しています。
出版社／出版年／本体価格／ページ数／本の大きさ（絵本のみ）／
対象年齢／ISBN
※表紙画像は、出版社の許諾が得られたものを掲載しています。
6. 巻末の索引は、対象年齢別に配列しています。
7. 物価事情により、図書の価格が変更されているものや、出版社の事情により、絶版になったものもありますのでご了承ください。
表紙デザイン：江上恵子

も く じ

○ 本の世界のはじめに（絵本） ○

おかおあらうの みーせて	6
どこに いるの?	6
おちば	7
ケーキ	7
すごいぜ ほんの ちからって!	7
ネコになりたかったクモのルイージ	8
はじめてのクリスマス	8
ふるかな ふるかな?	8
万次郎さんとすいか	9
りんごりらっぱ	9
ねずみ3きょうだい おつかいロボだいさくせん	9
パパはたいちょうさん わたしはガイドさん	10
ぼくのカキだよ!	10
四角い空のむこうへ	10

○ 物語 ○

となりのじいちゃん かんさつにつき	11
ネコはとつてもいそがしい	11
バットマンション	11
ふしぎなフーセンガム	12
ふろふき大根のゆうべ（安房直子 絵ぶんこ1）	12
うちのキチント星人	13
消えた校長先生	13
サンタクロースは空飛ぶ宅配便ではありません	13
リリの思い出せないものがたり	14
アゲイン	14
アンナの戦争 ―キンダートランSPORTの少女の物語―	14

エイ・エイ・オー！ ―ぼくが足軽だった夏―	15
今日もピアノ・ピアーノ	15
再会の日に	15
図書館がくれた宝物	16
ひと箱本屋とひみつの友だち	16
ボンジュール、トゥール	16
ラッキーボトル号の冒険	17
ロボットのたまごをひろったら	17
わたしに続く道	17
わたしのカレーな夏休み	18
あるいは誰かのユーウツ	18
6 days 遭難者たち	18
杉森くんを殺すには	19
スラムに水は流れない	19

○ よみつがれてきた物語 ○

こいぬを つれた かりうど ―中国の昔話―	19
アチケと天のじゃがいも畑 ―ペルーのむかしばなし―	20
千両みかん ―絵本で落語！―	20
ねえねえ、きょうのおはなしは……	
―世界の楽しいむかしばなし―	20

○ 歴史・伝記物語 ○

名探偵ホームズが生まれた日	21
小泉八雲と妖怪	21

○ 詩・ずいひつ・記録 ○

六歳の俳句 ―孫娘とじっちゃんの十七音日記―	22
生まれかわるヒロシマの折り鶴	22

おとうとのねじまきパン

—ずっとむかし、満州という国であったこと— …… 22

待ってろ！ 甲子園

—青島特別支援学校ベースボール部の挑戦— …… 23

○ 知識の本 ○

いろんないきもの かぞくのカタチ …… 23

きょうりゅうのわかっていること・わかっていないこと …… 23

シロツメクサはともだち …… 24

ゾウのはなのあなは、どこまでつづいているの？ …… 24

たいせつなたまご …… 24

トガリネズミ ひみつのくらし …… 25

いろ・いろ —色覚と進化のひみつ— …… 25

海 —ビーグル号で海たんけん— …… 25

うんこ虫を追え …… 26

深海魚に会える海

—日本でいちばん深い海とそこにくらす生き物のひみつ— …… 26

すごいトイレのはなし —1 万以上の便器をみがきつづけて。— …… 26

ミツツボアリをもとめて —アボリジニ家族との旅— …… 27

石は元素の案内人 …… 27

ブロックでなんでもつくる！ ビルダーの頭の中 …… 27

○ 本の世界のはじめに（絵本）○

..... 〈赤ちゃん〜〉

☆◆おかおあらうの みーせて

もりと いずみ著 きくち ちき絵

講談社 2024 ¥1,300 27p 21×21cm 赤ちゃん〜 978-4-06-536008-8



「ねえ かえるさん おかお あらうの みーせて」かえるは「ぱしゃ」と顔を洗う。ねずみは「ぱしゃ ぱしゃ ぱしゃ ぱしゃ」と何度も洗い、ぞうは「ぱっしやー」と豪快に洗う。動物たちが気持ちよさそうに顔を洗う場面が繰り返され、真似したくなる。淡い色調の水彩画でいきいきと描かれた動物たちの表情が愛らしい。

☆◆どこに いるの？

イヌイ マサノリ著・絵

ひさかたチャイルド 2024

¥1,200 24p 22cm 赤ちゃん〜 978-4-86549-324-5



ぞうさんがいるピンクの丘は、ぶたさんのせなか。そのぶたさんが立つ黄色の砂山は、らくださんのせなか。ページをめくるたびに視界は広がり、動物たちが積みあがって増えてゆく。はっきりとした色使いのシンプルな絵で、動物たちのユーモラスな表情が可愛らしい。次は何が出てくるのか、問いかけながら楽しめる絵本だ。

☆◆おちば

おーなり由子著 はた こうしろう絵

ほるぷ出版 2024 ¥1,500 32p 25cm 幼児〜 978-4-593-10498-7

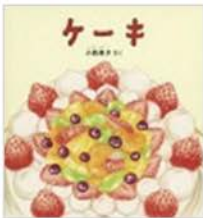


男の子が全身で落ち葉遊びを楽しむ様子を、あざやかな色彩で描く。森で落ち葉を見つけ、集めて両腕でかかえ「それっ!」とまき散らした。次はもっとたくさんかき集め、大きな山を作って飛び込んだ。画面いっぱいに広がる色とりどりの葉や、落ち葉のこすれる音、土の匂いなど、自然の美しさを五感でたっぷり味わえる絵本だ。

☆◆ケーキ

小西英子著

福音館書店 2024 ¥900 23p 22cm 幼児〜 978-4-8340-8801-4



「たまごと さとうを まぜますよ」「しゃか しゃか しゃか」生地を作りオーブンで焼いて、クリームを塗りフルーツで飾り付け。果物いっぱいのケーキが出来上がるまでを、やさしい言葉とオノマトペで伝える。写実的な絵からは、甘い匂いがしてきそう。ページをめくるたびにケーキができあがっていく様にわくわくする。

☆すごいぜ ほんの ちからって!

—モーリスのおうちはライブラリー—

ディディエ・レヴィ著 ロレンツォ・サンジョ絵 はしづめ ちよこ訳
イマジネーション・プラス 2024

¥1,700 34p 28cm 幼児〜 978-4-909809-55-1



ネコのモーリスは本を読み聞かせることでネズミを集め、食べる作戦を立てた。しかし面白い本には一緒に笑い、退屈な本だと共に寝てしまい、ちっとも食べることができない。本をきっかけに天敵同士の関係が変化してゆく様子がほほえましい。有名映画や物語の絵がさりげなくちりばめられ、思わず細部まで見入ってしまう。

☆ネコになりたかったクモのルイージ

ミシエル・ヌードセン著 ケビン・ホークス絵 福本友美子訳
岩崎書店 2024 ¥1,700 40p 30cm 幼児～ 978-4-265-85220-8



毛がもじゃもじゃのクモが住み着いたのは、こネコを飼いたいお婆さんの家だった。ルイージと名付けられたクモは足をたたみ、ねこじゃらしで遊ぶなどネコになりきろうとする。温かい色調と柔らかいタッチの絵で、2人が少しずつ心を通わせていく様子を丁寧に描く。お婆さんを喜ばせようとするルイージの健気さに心が和む。

☆はじめてのクリスマス

マック・バーネット著 シドニー・スミス絵 なかがわ ちひろ訳
偕成社 2024 ¥1,600 40p 23×29cm 幼児～ 978-4-03-328680-8



サンタのクリスマスは、一年中休まずに作ったプレゼントを配り終えたら、あとは眠るだけ。しろくまとエルフたちは、そんな彼に素敵なクリスマスを用意しようと計画する。はじめて特別なクリスマスを過ごすサンタたちの様子を、鮮やかな色調で描く。ごちそう作りや飾りつけを楽しむ彼らの姿に、クリスマスが待ち遠しくなる。

☆ふるかな ふるかな？

キム・ジョンソン著 せな あいこ訳
評論社 2024 ¥1,800 36p 26cm 幼児～ 978-4-566-08102-4



雨が降るのを待ちきれない少女と子犬は、レインコート、長靴、傘をしっかりと身につけ外に出てみた。じっと待つが雨は降らず諦めかけたとき、ついに空から水が落ちてくる。なめて味見をしたりしずくの音を聞いたり、全力で楽しむ姿がほほえましい。柔らかなタッチの絵はおはなしの雰囲気合っており、雨具の黄色が印象的だ。

☆万次郎さんとすいか

本田いづみ著 北村 人絵

福音館書店 2024 ￥1,000 27p 20×27cm 幼児～ 978-4-8340-8791-8



万次郎さんの畑でできた大きなすいかは、持ち上げようにも重くて動かない。するとすいかは跳ね上がり、川に飛び込んだ。追いかけた万次郎さんも川に入り、見かけた村人たちも一緒にどんぶらこと流れていく。すいかを取り巻くにぎやかな夏の一日を、鮮やかなクレヨン画で描く。素朴で味わいのある絵がお話によく合っている。

☆◆りんごりらっぱ

あべ けんじ著・絵

福音館書店 2024 ￥1,000 31p 20×27cm 幼児～ 978-4-8340-8755-0



リンゴが1つ。そこにゴリラがやってきて「りんごりら」。ラッパも加わり「りんごりらっぱ」、さらにはパンダで「りんごりらっぱんだ」。動物やものが次々に登場し、どんどん言葉がつながっていく。はっきりした色合いとシンプルな造形のステンシル版画の絵が愛らしい。声に出して読みたくなる、楽しいしりとり遊びの絵本だ。

☆ねずみ3きょうだい おつかいロボだいさくせん

こすぎ さなえ著 出口かずみ絵

教育画劇 2023 ￥1,200 32p 25cm 小・低学年～ 978-4-7746-2307-8



兄ねずみは食いしん坊な弟ねずみにりんごを買ってやりたいが、天敵の猫たちが邪魔をする。そこで、特技の工作とプログラミングで、試行錯誤しておつかいロボットを開発した。自動で買い物する機能や、水鉄砲などの武器を仕込み、知恵と工夫で猫を出し抜く様子が愉快だ。コミカルで表情豊かな絵も、お話の雰囲気合っている。

☆パパはたいちょうさん わたしはガイドさん

ゴンサロ・モウレ著 マリア・ヒロン絵 星野由美訳

PHP研究所 2024

¥1,700 33p 23×25cm 小・低学年～ 978-4-569-88147-8



目の見えないパパとかすかに見える娘は、学校まで手をつないで歩く。2人にとってその道のりは、光と影と音のジャングルだ。街を走る車をライオンやパンダに、横断歩道を大きな川に見立てて通学する様子を、娘の視点で描く。親子が見ている世界を色鮮やかな動物たちで表し、互いへの信頼と愛情を温かみのある絵で伝える。

☆ぼくのカキだよ！

市川里美著

BL出版 2024 ¥1,500 32p 28cm 小・低学年～ 978-4-7764-1144-4



柿が大好きなケンちゃんは、実が赤くなるのが待ち遠しい。竹の棒を使った実の取り方を祖父から教えてもらい、ようやく熟した実を取ろうとするが、カラスに全て食べられてしまった。柿とともに日本の原風景が柔らかなタッチの水彩で描かれ、温かく味わい深い。祖母が伝える、渋柿を干して甘くする昔ながらの知恵も興味深い。

..... <小学校中学年～>

☆四角い空のむこうへ

由美村嬉々著 羽尻利門絵

晶文社 2024 ¥1,600 34p 27cm 小・中学年～ 978-4-7949-7432-7



中学2年生のあきは、先天性の筋肉の病気で、人工呼吸器をつけてベッドで日々を過ごす。天気予報オタクの彼が空をよく見られるように、家族は天窓を作った。窓から望む空に思いをはせる彼は、憧れの気象予報士の勉強を始める。前向きなあきりと応援する家族の姿を温かく描く。少年の夢を励ますような空の青さが印象的だ。

ふしぎなフーセンガム

麻生かづこ著 くすはら順子絵

文研出版 2024 ¥1,300 79p 小・低学年～ 978-4-580-82626-7



指あみの好きな小学2年生のじゅんは、周りから男の子らしくないといわれている。なりたいものになれるガムで女の子に変身したじゅんは、「やまんばみこ」と呼ばれる同級生と遊ぶ。自分の気持ちに正直な彼女の姿に勇気づけられ、自身を認めるようになる少年の姿をいきいきと描く。自分らしく生きることの大切さが伝わる。

ふろふき大根のゆうべ（安房直子 絵ぶんこ1）

安房直子著 アヤ井アキコ絵

あすなろ書房 2024 ¥1,500 47p 小・低学年～ 978-4-7515-3201-0



峠の茶店を営む茂平は、山中でほっかむりをした大いのにししに会う。大根をあげるとお礼にふろふき大根のゆうべに招待される。集まっていたのししたちと鍋を囲むと、白い湯気の中に鳥や百合、雲などが浮かんできた。人と動物の交流を、ゆったりとした会話と柔らかいタッチの水彩画で温かく描く。著者が残した数多くの童話の中からとりあげ、読みやすい絵童話としたシリーズだ。空想上の孫が老女を訪れる『遠い野ばらの村』、老人とタヌキがおでんの屋台を引く『雪窓』など全9巻。各巻で絵の描き手が異なり、どれも物語の雰囲気に合う。



遠い野ばらの村（安房直子 絵ぶんこ4）

安房直子著 高橋 和枝絵

2024 ¥1,500 46p 978-4-7515-3204-1



雪窓（安房直子 絵ぶんこ5）

安房直子著 長谷川あかり絵

2024 ¥1,500 54p 978-4-7515-3205-8

うちのキチント星人

佐藤まどか著 中田いくみ絵

フレーベル館 2024 ￥1,400 157p 小・中学年〜 978-4-577-05296-9



4年生の千歌^{ちか}はおおざっぱな性格だ。彼女ははとこで同級生のあつくんと一緒に暮らすことになるが、彼はブドウをナイフとフォークで食べるくらいの「キチント星人」だった。千歌があつくんの細やかな気配りに気づき、正反対の性格の2人が歩み寄っていく姿を丁寧に描く。お互いに個性を認め合えるようになる結末が爽やかだ。

消えた校長先生

西村友里著 大庭賢哉絵

Gakken 2024 ￥1,450 125p 小・中学年〜 978-4-05-205907-0



暗闇が怖い4年生の潤也は、2泊3日の野外学習に不安を感じていた。彼は、手に入れたお守り札の残り半分をもらうために校長先生を探すが、声をかけようとするたびに先生はどこかに消えてしまう。先生の行動を怪しんで想像を巡らす様子は、ほほえましい。苦手なことを乗り越えようと努力する少年の姿は、応援したくなる。

サンタクロースは空飛ぶ宅配便ではありません

市川宣子著 高橋和枝絵

ポプラ社 2023 ￥1,500 126p 小・中学年〜 978-4-591-17979-6



4年生の黒須三太^{くろすさんた}の前にトナカイのルドルフが現れ、消えたサンタクロースの代理の1人として、この町を担当すると言う。三太は友だちと協力し、子どもたちを喜ばせようと知恵を絞る。クリスマス本部が送りつけてきたプレゼントをただ配るのではなく、ひとりひとりを思って贈り物を選ぶ三太たちの姿に、心が温まる。

リリの思い出せないものがたり

たかどの ほうこ著 高橋和枝絵

ポプラ社 2024 ¥1,400 94p 小・中学年～ 978-4-591-18190-4



小学2年生のリリは、昔祖母の家であった出来事を思い出せずにいた。ある日、祖母の友人が作った「水玉ハンカチのものがたり」を聞く。ハンカチが色々な人に拾われるお話で、リリは幼い自分が見たのはその続きの情景だと気づく。現実と空想が混ざり合う世界を柔らかな挿絵と共に丁寧に描く。小さな幸せの連鎖に心が温まる。

..... <小学校高学年～>

アゲイン

あんず ゆき著 丹下京子絵

フレーベル館 2023 ¥1,400 221p 小・高学年～ 978-4-577-05187-0



6年生のアオイは父のカレー店が休業し、将来に不安を抱えていた。ある日級友のカンナがフードバンク兼子ども食堂「アゲイン」を利用していると知り、一緒に通うようになる。何事も人任せの少女が、子ども食堂を手伝うことで主体的に行動するようになる姿をテンポよく描く。食品ロスや貧困などの問題を身近に感じられる。

アンナの戦争 ―キンダーtransportの少女の物語―

ヘレン・ピーターズ著 尾崎愛子訳

偕成社 2023 ¥1,700 349p 小・高学年～ 978-4-03-726800-8



第二次大戦前夜、12歳のアンナはナチのユダヤ人迫害を避け、子どもを対象とした国際救援活動キンダーtransportの助けでドイツを脱出した。英国で理解ある里親に引き取られるが、ホームシックや地元民の偏見に苦しむ。史実をふまえ、戦争に翻弄される難民の少女の苦闘をいきいきと描く。戦時下の暮らしの描写も丁寧だ。

エイ・エイ・オー！ ―ぼくが足軽だった夏―

佐々木ひとみ著 浮雲宇一絵

新日本出版社 2024 ￥1,500 173p 小・高学年～ 978-4-406-06746-1



5年生の直紀は、観光PRを行う「奥州・仙台おもてなし集団 杜^{もりの}乃武将隊」の「伊達政宗」から足軽役を頼まれた。地味な役に不満な直紀だったが、活動の意義や自分に頼んだ理由を聞いて、真剣に向き合うようになる。地域の人に勇気を与えようとがんばる少年の、ひと夏の成長を描く。武将隊としての最後の口上が心を打つ。

今日もピアノ・ピアーノ

有本 綾著 今日マチ子絵

Gakken 2023 ￥1,500 156p 小・高学年～ 978-4-05-205778-6



6年生の海斗は、駅のストリートピアノを弾くおじいさんと出会う。美しい演奏に感動してピアノを教わることにした海斗は、彼の孫でバイオリンを弾く少女と2人で演奏会をすることになった。塾も習い事も中途半端だった少年が、主体的に行動するようになるまでを描く。つまずきながらも地道に努力を積み重ねる姿がまぶしい。

再会の日に

中山聖子著

岩崎書店 2024 ￥1,500 230p 小・高学年～ 978-4-265-84048-9



両親が離婚したため、6年生の陽架^{はるか}は母と、妹の未怜^{みれい}は父と暮らしている。おばの入院を機に、陽架は未怜に会いに行く。3年半ぶりに再会した姉妹が、戸惑いながらも思いをぶつけ合うことで、次第に心を通わせていく姿を丁寧に描く。一度ばらばらになった家族が再び歩み寄る結末は、希望を感じさせ、静かに胸を打つ。

図書館がくれた宝物

ケイト・アルバス著 櫛田理絵訳

徳間書店 2023 ¥1,900 381p 小・高学年～ 978-4-19-865665-2



戦火の迫る1940年のロンドンで親代わりの祖母を亡くした3兄妹は、学童疎開先で後見人を探すことにした。慣れない田舎でいじめやひもじさに苦しむが、図書館と優しい司書が本好きな3人の心の支えとなる。個性豊かな兄妹の三者三様な読書の様子が興味深い。辛い状況でも協力し健気に生き抜く子どもたちの姿に胸を打たれる。

ひと箱本屋とひみつの友だち

赤羽じゅんこ著 はらぐち あつこ絵

さ・え・ら書房 2023

¥1,500 205p 小・高学年～ 978-4-378-01562-0



5年生の朱莉は「ひと箱本屋カフェ」で自作の本を売^{あかり}る6年生の理々亜と出会い、意気投合する。一緒に行った夏祭りで、車いすの理々亜はトラブルに遭い、以後音信不通になる。友だちでいるために、2人が周囲の協力を得つつ奮闘する様子をいきいきと描く。心のバリアフリーや社会のあり方についても、多面的に描かれている。

ボンジュール、トゥール

ハン・ユンソプ著 キム・ジナ絵 ^オ 呉 ^{ファス} 華順訳

影書房 2024 ¥1,800 217p 小・高学年～ 978-4-87714-499-9



12歳の韓国人ボンジュは、フランスのトゥールに引っ越してきた。彼は自分の部屋で「愛するわが祖国」というハングルの落書きを見つける。書き手を探してたどり着いたのは、複雑な出自を持つ同級生のトシだった。国籍や偏見を超え、友情を深める2人の姿が感動的な物語だ。テンポのよい謎解きのような展開に引き込まれる。

ラッキーボトル号の冒険

クリス・ウォーメル著 柳井 薫訳

徳間書店 2024 ￥2,000 415p 小・高学年～ 978-4-19-865837-3



船が難破し孤島に漂着した10歳のジャックは、先住者「ロビンソン」に助けられる。2人で島に眠る海賊の宝を探す中、魔術書を見つけた。魔法の薬で体を縮め瓶に乗り込み、少年は故郷を目指す。漂流に宝探し、魔法が盛り込まれた、心沸き立つ冒険物語だ。孤島暮らしの中で男と少年が友情を育む姿に、胸が熱くなる。

ロボットのたまごをひろったら

奈雅月ありす著 酒井 ^{さね}以絵

ポプラ社 2024 ￥1,600 286p 小・高学年～ 978-4-591-18144-7



6年生の^{こう}巧は物知りだが、人の気持ちに関心がない。ある日、同級生2人が箱を拾うが、それはロボットの赤ちゃんだった。一緒に面倒を見ることになった3人が、衝突しながら友情を育む姿をいきいきと描く。ロボットを狙う大人たちからの逃走劇は臨場感たっぷりだ。少年たちがロボットへの愛情を深めていく様子に、心温まる。

わたしに続く道

山本悦子著 佐藤真紀子絵

金の星社 2023 ￥1,500 254p 小・高学年～ 978-4-323-07541-9



日本とケニアの血を引く5年生のリイマ。級友から黒人と言われ、自分は日本人だという確信が揺らぐ中、ケニア旅行に行くことになる。旅を通して多様な価値観に触れ、自分を見つめ直していく様子を、彼女の一人称で丁寧につづる。ルーツを知って自分自身を受け入れられるようになる少女の姿に、勇気づけられる。

わたしのカレーな夏休み

谷口雅美著 KOUME 絵

講談社 2024 ¥1,400 172p 小・高学年～ 978-4-06-535236-6



食いしん坊で嗅覚の鋭い5年生のハルカは、夏休みに大阪でカレー屋を営む叔父の家へ行く。そこで商店街に住む少年2人と出会い、イベントに出すお店の新メニューを考えることになった。予算や宗教上のタブーも考えながら、カレー作りに試行錯誤する姿をいきいきと描く。主人公が香り豊かに語る食べものの描写が食欲をそそる。

あるいは誰かのユーウツ

てんかわ
天川栄人著

講談社 2024 ¥1,600 217p 中学生～ 978-4-06-535712-5



第二次性徴期を経て心と身体の問題にぶつかる中学2年生の6人を描く、連作短編集。声変わりを受け入れられない合唱部の悠太。重い生理痛に悩まされているが、父子家庭で相談をためらうあかり。戸惑いながらも、自身の変化に向き合おうとする彼らの姿が共感を呼ぶ。それぞれが前を向き、一步を踏み出す結末が爽やかだ。

シックスデイズ

6 days 遭難者たち

安田夏菜著

講談社 2024 ¥1,500 267p 中学生～ 978-4-06-535559-6



4か月だけ登山部だった高校1年生の美玖^{みく}は、初心者と同級生2人と日帰り登山に出掛ける。温泉に寄ろうと下山ルートを変更したところ、道を見失い遭難した。乏しい食糧に寒さ、けがなど状況が悪化する中で、3人は目を逸らしてきた自分の悩みに向き合おうとする。生還を目指す彼女らの奮闘と、友情を深める姿が印象的だ。

杉森くんを殺すには

長谷川まりる著 おさつ絵

くもん出版 2023 ￥1,400 203p 中学生～ 978-4-7743-3483-7



高校1年生のヒロは親友の杉森くんを殺すことにした。兄に電話で相談すると、裁判所で話せるように殺す理由をまとめておくよう言われた。助言のとおり実践するうちに自分の内面と向きあうようになる少女の姿を、細やかに描く。物騒な題名と計画の裏に隠された真相が章を追うごとに明かされ、その鮮やかな展開に目が離せない。

スラムに水は流れない

ヴァルシャ・バジヤージ著 村上利佳訳

あすなろ書房 2024 ￥1,600 239p 中学生～ 978-4-7515-3184-6



12歳の少女ミンニが住むムンバイのスラムには、十分に水が供給されていない。マフィアが水を盗む現場を目撃したため命を狙われた兄を守ろうと、少女は知恵を絞り、彼らを告発しようと奮闘する。未だカースト制が残るインドで苦境に立ちながらも、周囲の人々に支えられ、自分の道を拓いて力強く歩むミンニの姿が、胸を打つ。

○ よみつがれてきた物語 ○

..... 〈幼児～〉

☆こいぬをつれた かりうど —中国の昔話—

牧野夏子再話 佐々木マキ絵

福音館書店 2024 ￥1,000 27p 27cm 幼児～ 978-4-8340-8777-2



年老いた狩人は、いつも鉄砲を持たずに狩りに行く。相棒の子犬には、毎日ゴマ油を飲ませ、ゴマ油で体を洗ってやっていた。ある日、トラ退治を頼まれた老人は、いつもどおり子犬だけをつれて山に入っていく。ゴマ油がトラ退治の鍵となる展開がユーモラスだ。とぼけた味わいのある絵が、中国の奇想天外なお話を引き立てる。

..... 〈小学校低学年〜〉

☆アチケと天のじゃがいも畑 ―ペルーのむかしばなし―

宇野和美著 飯野和好絵

B L出版 2024 ¥1,800 32p 30cm 小・低学年〜 978-4-7764-1122-2



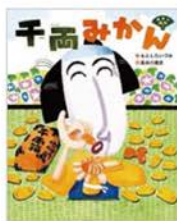
お腹を空かせた姉弟が招き入れられたのは、魔女アチケの家だった。コンドルやピューマに助けられ逃げ延びた2人は、天のじゃがいも畑にたどり着き、魔女は地に落ちて山になった。アンデスの岩山の成り立ちと、貴重な栄養源にまつわる昔話絵本だ。アチケと動物の対決が力強い筆致で描かれ、その迫力にハラハラさせられる。

☆千両みかん ―絵本で落語！―

もとした いづみ著 長谷川義史絵

フレーベル館 2024

¥1,540 32p 28cm 小・低学年〜 978-4-577-05284-6



暑い夏の日、気の病で寝込んだ若旦那。聞くと季節外れのみかんを食いたいという。主人想いの番頭は町中を探し回りやっと1つ見つけるが、代金は千両だと言われてしまう。みかんを前に喜びの涙を流したり、値段に驚いたりする番頭の様子が、表情豊かに描かれ笑いを誘う。大阪弁の台詞が、上方落語の世界を軽妙に再現している。

..... 〈小学校中学年〜〉

ねえねえ、きょうのおはなしは…… ―世界の楽しいむかしばなし―

大塚勇三再話・訳 PEIACO絵

福音館書店 2024 ¥1,100 157p 小・中学年〜 978-4-8340-8753-6



多くの海外児童文学の翻訳を手がけた大塚勇三。彼が日本の子どもたちに紹介してきた昔話の中から、言葉をかけるとおかゆを煮る鍋が騒動を起こす「おいしいおかゆ」など、20話を紹介する。やさしい言葉で語られるお話は、読者を物語の世界へ引き込み、想像力がかきたてられる。自分で読んでも、読んでもらっても楽しめる。

○ 詩・ずいひつ・記録 ○

〈小学校中学年〜〉

六歳の俳句 —孫娘とじっちゃんの十七音日記—

かとう ゆみ著 加藤 宙著

光文社 2023 ¥1,300 144p 小・中学年～ 978-4-334-10057-5



ゆみちゃんは、彼女のことを詠んだ祖父の受賞句をきっかけに俳句に興味を持った。祖父に教わり小学1年生から作り始めた俳句を紹介しながら、その背景も日記風につづる。妹の誕生からウクライナの戦争まで、自由な感性にあふれた句に驚かされると同時に、親しみがわく。季語などのルールも解説され、一句詠んでみたくなる。

〈小学校高学年〜〉

生まれかわるヒロシマの折り鶴

佐藤真澄著

汐文社 2023 ¥1,600 211p 小・高学年～ 978-4-8113-2898-0



平和公園の「原爆の子の像」には、年間約1千万羽の折り鶴がささげられる。量が多いため永久保存は難しく、鶴に込められた思いを大切に、単なる保存ではなく「活用」するアイデアを市民から募った。再生紙化や追悼行事等、平和への願いを形にしようと試行錯誤する人々の姿に心打たれる。本書にも再生紙が一部使われている。

おとうとのねじまきパン

—ずっとむかし、満州という国であったこと—

高橋うらら著

合同出版 2024 ¥1,600 140p 小・高学年～ 978-4-7726-1553-2



1932年、日本は中国大陸に満州国を作った。和子は4歳で家族と移住するが、次第に戦況が悪化してゆく。和子が13歳の時、結核を患う弟が砂糖を食いたいと望む。彼女がようやく見つけたのは、甘いねじまきパンだった。当事者への取材を基に、人々が懸命に生き抜く姿を丁寧に描く。写真や地図が豊富で、時代背景を理解しやすい。

待ってろ！ 甲子園 ^{せいちょう} —青鳥特別支援学校ベースボール部の挑戦—
日比野恭三著
ポプラ社 2024 ￥1,800 157p 小・高学年～ 978-4-591-18188-1



知的障がいのある高校生が通う青鳥特別支援学校は2024年、特別支援学校として全国で初めて単独チームで甲子園を目指す。元は球技部しかなかった学校で、指導者の久保田先生が部員を集め、練習を重ねる日々を描く。様々な特性をもつ少年たちがいきいきと野球に取り組む様子と、それを支え見守る大人たちの姿に胸が熱くなる。

○ 知識の本 ○

..... 〈小学校低学年〜〉

いろんないきもの かぞくのカタチ

澤口たまみ著 たしろ ちさと絵

福音館書店 2023 ￥1,400 95p 小・低学年～ 978-4-8340-8746-8



コウテイペンギンのお父さんは、ミルクのような液を出して子どもに与える。クマのお母さんは、秋に十分食べられた時だけ出産をする。5種類の動物の子育ての様子が温かみのある文章と写実的なカラーイラストで紹介され、絵本のように楽しめる。巻末の解説も明快で、動物の不思議な生態について、さらに理解を深められる。

☆きょうりゅうのわかっていること・わかっていないこと

木下さとみ著 吉森太助絵

小学館集英社プロダクション 2024

￥1,400 40p 27cm 小・低学年～ 978-4-7968-7428-1



ティラノサウルスの腕はなぜ短い？ トリケラトプスの首のまわりのフリルはなんのため？ 日進月歩の恐竜研究だが、わからないこともまだまだ多い。答えのない事柄についても疑問を持ち、仮説をたて、考えを深めていく科学の方法を、簡潔な文章で伝える。恐竜の特徴を捉えたとぼけた味わいのある絵が、自由な発想を助ける。

☆シロツメクサはともだち

鈴木 純著

ブロンズ新社 2024

¥1,400 32p 27cm 小・低学年～ 978-4-89309-729-3



シロツメクサの花は、実はたくさんの小さい花が集まっている。その小さな花の中に種ができ、発芽し、色々な形や模様の葉が出てくる。茎は地面をはうように広がり、そこから根がのびる。シロツメクサの構造とその生態を、植物観察家がやさしい文章と鮮明な写真で解説する。自分でも身近な花を分解して観察してみたいくなる。

☆ゾウのはなのあなは、どこまでつづいているの？

高岡昌江著 中山信一絵

あすなろ書房 2023

¥1,600 36p 25cm 小・低学年～ 978-4-7515-3127-3



ゾウの鼻は長いが、中のつくりは人間と似ている。しかしその役割は、においを感じるだけでなく、水を貯えたり、仲間とあいさつをしたりと多岐にわたる。ゾウの鼻のしくみを易しい文章と明快な絵で解説する。鼻の扱いが不器用な天王寺動物園の雌ゾウの話では、孤独な彼女の育ちに思いを寄せる著者のエピソードに心温まる。

☆たいせつなたまご

キッチンミノル著・写真

白泉社 2024

¥1,200 24p 21×21cm 小・低学年～ 978-4-592-76350-5



たまごはどこからくるのかな。にわとりは1日に1つしかたまごを産まない。おいしいたまごを産むよう、養鶏場のひとは健康に気を配り大切に育てる。たまごが食卓に届くまでが働く人々の視点に立った写真と親しみやすい語り口で紹介され、身近な食べ物についてもっと知りたいくなる。たまごを産み落とす瞬間の写真も印象的だ。

☆トガリネズミ ひみつのくらし

六田晴洋著・写真

世界文化社 2024

¥1,600 40p 24cm 小・低学年～ 978-4-418-24810-0



北海道に生息するトウキョウトガリネズミは、体長5センチ程の世界最小の哺乳類だ。実はモグラの仲間で、約4時間何も食べないと死んでしまう。力強く虫を捕える様子や赤ちゃんの姿など、希少で謎の多い生態を躍動感のある鮮明な写真とやさしい文章で伝える。丸々太った冬の姿は夏とは全く違っていて、その変身ぶりに驚く。

..... 〈小学校中学年～〉

☆いろ・いろ ―色覚と進化のひみつ―

川端裕人著 中垣ゆたか絵

講談社 2024 ¥1,950 40p 27cm 小・中学年～ 978-4-06-534489-7



色は目と脳のはたらきで頭の中に感じるものだ。色の見え方は人類の進化と共に変化し、その過程で赤と緑が近い色に見える「進化型」の人たちが生まれた。100人に数人の彼らが見ている世界と多数派の見え方を、わかりやすい絵で対比し紹介する。色覚多様性への理解が深まり、誰もが見やすい環境づくりを考えるきっかけになる。

☆海 ―ビーグル号で海たんけん―

高久 至著・写真

アリス館 2024 ¥2,450 56p 29cm 小・中学年～ 978-4-7520-1106-4



日本の海は、海流と地形の関係で様々な表情を持つ。そんな海に魅せられた著者は、「ビーグル号」と名付けた車に乗って全国を旅する。各地で海に潜り、海中や干潟の様子、生物を間近で撮影し、日本の海の魅力を伝えると共に、環境問題にも触れる。美しい海の中で力強く生きる生物の姿を捉えた、迫力ある写真が印象的だ。

うんこ虫を追え

館野 ^{ひろし} 鴻 著・絵

福音館書店 2024 ¥1,300 39p 小・中学年～ 978-4-8340-8783-3



美しく輝くオオセンチコガネはうんこが大好物。土の中にうんこの玉を作りそこに卵を産む。しかし、卵から成虫になるまでの様子は知られていない。彼らの生態を解明すべく、著者が自ら飼育しながら調査し、その過程を写実的な絵で描いた知識絵本だ。仮説を検証し、失敗を重ね、新たな謎に挑む研究の面白さがよく伝わる。

深海魚に会える海

—日本でいちばん深い海とそこにくらす生き物のひみつ—

堀口和重著・写真

フレーベル館 2024 ¥1,700 36p 小・中学年～ 978-4-577-05287-7



静岡県大瀬崎海岸近くの浅い海では、深海魚が何種類も見つかる。日本一深い海、駿河湾に面している特別な地形や、深海魚の習性に関わっているからだ。漁の現場や深海魚を使った料理、魚と触れ合える施設等も紹介され、興味を誘う。水中カメラマンの著者が撮ったいきいきとした写真から、深海魚の迫力と港町の活気が伝わる。

すごいトイレのはなし —1万以上の便器をみがきつづけて。—

佐藤満春著 伊藤ハムスター絵 萩原まお絵

Gakken 2024 ¥1,500 125p 小・中学年～ 978-4-05-205939-1



「トイレ大好き芸人」の著者が、豊富な写真や図を交えてトイレの知識を語る。便器の進化や掃除のコツ、流されたものの行方、災害時の問題など、多角的な視点で解説され、毎日使うトイレの面白さと意外な奥深さに驚かされる。ウォシュレットの名前の由来や外国のトイレの豆知識など、トリビアやクイズもあり楽しく読める。

ミツツボアリをもとめて ―アボリジニ家族との旅―

今森光彦著

偕成社 2024 ¥1,600 37p 小・中学年～ 978-4-03-333750-0



腹に蜜を蓄えるという特徴をもつミツツボアリ。著者はそれを採集するアボリジニ家族に同行した。旅の中で見た南オーストラリアの砂漠地帯の動植物や雄大な自然、それらを美しい写真で伝える。あめ色のガラス玉のような虫の姿は神秘的で、目を奪われる。昆虫食や壁画など、自然と共存するアボリジニの暮らしや文化も興味深い。

..... 〈小学校高学年～〉

石は元素の案内人

田中陵二著・写真

福音館書店 2024 ¥1,300 47p 小・高学年～ 978-4-8340-8757-4



自然界のすべては90種類の元素でできている。元素はそれ以上分けられない小さな粒のことだ。孔雀石を熱して銅の元素を取り出したり、岩塩を原子になるまで割って電子顕微鏡で観察したり、様々な実験を平易な言葉と豊富な図版で紹介する。黒地のページに色鮮やかな鉱物や結晶の写真が映え、美しさと不思議さに魅了される。

ブロックでなんでもつくる！ ビルダーの頭の中

三井淳平著

偕成社 2024 ¥1,600 171p 小・高学年～ 978-4-03-636420-6



レゴ認定プロビルダーの著者が、作品と制作過程を解説する。例えば北斎の浮世絵「神奈川沖浪裏」をブロックで作る際には、巨大波に関する研究論文を読み、波の動画を見て立体的な動きをイメージしてスケッチを描いた。作品ごとに変わる制作方法のユニークさに驚かされる。「好き」を仕事にするためのヒントが詰まった一冊。

「子どもの本棚」委員会選定規準

1. 著者（訳者、画家、編者、監修者を含む）

- （1）著者の経歴については、信頼に足るか。すでに著作がある著者については、それまでの著作と比較して評価できるか。
- （2）知識の本については、信頼のおける研究成果や執筆の動機があるか。

2. 出版社

本作りに対する姿勢はたしかか。その目的、意図、方針などはどうか。

3. 内容

- （1）著者の意図する読者に適した内容になっているか。
- （2）子どもの知的、または、情緒的な経験を広げることのできるものであるか。また、子どもの多様な興味やニーズに応えることのできるものであるか。
- （3）著者の考えが、読者にきちんと伝わるか。
- （4）作品のテーマや構成が、読者を引きつけ、文学性豊かなものであるか。
- （5）絵本の場合は、文章と絵の関係がうまく調和しているか。
- （6）知識の本の場合は、正確でわかりやすく、新しい知見が紹介されているか。また、索引や目次が必要かつ十分につけられているか。増補、改訂が適切にされているか。

4. 表現

- （1）読者の発達段階に適した表現を用いているか。
- （2）子どもの心情を豊かにするよう叙述されているか。
- （3）文章は明確で、しかも簡潔に書かれているか。
- （4）漢字、かな使い、ふりがなが適切か。
- （5）写真、絵画は、美術性をそなえているか。
- （6）知識の本の場合は、明りょうで正確な写真、絵、グラフ、図表などにより視覚化し、子どもの理解を助けているか。

5. 形態

- （1）紙質、印刷、判型、活字、組版は適切であるか。
- （2）装丁は適切で、美しく、好ましい印象を与えるか。
- （3）造本は内容に適したもので、取り扱いやすいか。
- （4）印刷は鮮明で見やすいか。

6. 価格

内容にふさわしく適切か。

7. その他

- (1) 古典、翻訳作品については、原文の意味を正確に伝え、理解しやすいか。また、原著の持ち味そのままをあらわし、原著について解説がつけてあるか。
- (2) 民話、神話、伝説については、ストーリーがしっかりしたもので、再話に際し、適切な表現を用いているか。

1981年7月制定

2013年3月改訂

子どもの本棚委員

委員長

利用サービス担当課長

戸倉 信昭

委員

課長 小西 敏章

課長代理 岡本 泰子

外丸須美乃

檜崎 佳代

担当係長 土岐 真弓

池田知扶美 石原 ふじ

大古 綾香 奥村 早

小橋 弘美 鎌田 恵子

工藤 未越 進川 知世

中谷真由美 流田 英明

濱岡 愛 平田 満子

対象年齢別索引

☆：絵本 ◆：行事読み聞かせ向き

赤ちゃん～

○ 本の世界のはじめに（絵本）○

- ☆◆おかおあらの みーせて…6
- ☆◆どこに いるの？…6

幼児～

○ 本の世界のはじめに（絵本）○

- ☆◆おちば……………7
- ☆◆ケーキ……………7
- ☆すごいぜ ほんの
ちからって！……………7
- ☆ネコになれたかった
クモのルイージ……………8
- ☆はじめてのクリスマス……………8
- ☆ふるかな ふるかな？……………8
- ☆万次郎さんとすいか……………9
- ☆◆りんごりらっぱ……………9

○ よみつがれてきた物語 ○

- ☆こいぬを つれた
かりうど ……………19

小学校低学年～

○ 本の世界のはじめに（絵本）○

- ☆ねずみ3きょうだい
おつかいロボだいさくせん・9
- ☆パパはたいちょうさん
わたしはガイドさん……………10
- ☆ぼくのカキだよ！……………10

○ 物語 ○

- となりのじいちゃん
かんさつにつき……………11
- ネコはとってもいそがしい…11
- バットマンション……………11
- ふしぎなフーセンガム……………12
- ふろふき大根のゆうべ……………12

○ よみつがれてきた物語 ○

- ☆アチケと天の
じゃがいも畑 ……………20
- ☆千両みかん……………20

○ 知識の本 ○

- いろんないきもの
かぞくのカタチ……………23
- ☆きょうりゅうの
わかっていること・
わかっていないこと……………23
- ☆シロツメクサはともだち……………24
- ☆ゾウのはなのあなは、どこまで
つづいているの？……………24
- ☆たいせつなたまご……………24
- ☆トガリネズミ
ひみつのくらし……………25

小学校中学年～

○ 本の世界のはじめに（絵本）○

- ☆四角い空のむこうへ……………10

○ 物語 ○

- うちのキチント星人……………13
- 消えた校長先生……………13
- サンタクロースは空飛ぶ宅配便
ではありません……………13

リリの思い出せない
ものがたり…………… 14

○ よみつがれてきた物語 ○

ねえねえ、きょうの
おはなしは…………… 20

○ 歴史・伝記物語 ○

☆名探偵ホームズが
生まれた日…………… 21

○ 詩・ずいひつ・記録 ○

六歳の俳句…………… 22

○ 知識の本 ○

☆いろ・いろ…………… 25
☆海…………… 25
うんこ虫を追え…………… 26
深海魚に会える海…………… 26
すごいトイレのはなし…………… 26
ミツツボアリをもとめて…………… 27

小学校高学年～

○ 物語 ○

アゲイン…………… 14
アンナの戦争…………… 14
エイ・エイ・オー！…………… 15
今日もピアノ・ピアーノ…………… 15
再会の日に…………… 15
図書館がくれた宝物…………… 16

ひと箱本屋と
ひみつの友だち…………… 16
ボンジュール、トゥール…………… 16
ラッキーボトル号の冒険…………… 17
ロボットのたまごを
ひろったら…………… 17
わたしに続く道…………… 17
わたしのカレーな夏休み…………… 18

○ 歴史・伝記物語 ○

小泉八雲と妖怪…………… 21

○ 詩・ずいひつ・記録 ○

生まれかわる
ヒロシマの折り鶴…………… 22
おとうとのねじまきパン…………… 22
待ってる！ 甲子園…………… 23

○ 知識の本 ○

石は元素の案内人…………… 27
ブロックでなんでもつくる！
ビルダーの頭の中…………… 27

中学生～

○ 物語 ○

あるいは誰かのユーウツ…………… 18
6 days 遭難者たち…………… 18
杉森くんを殺すには…………… 19
スラムに水は流れない…………… 19

大阪市の図書館案内

子どもの本に関するご相談は、各図書館どうぞ。

中央図書館	〒550-0014	西区北堀江4-3-2	
	貸出・返却		TEL06-6539-3301
	調査・相談		TEL06-6539-3302
	予約本についてのお問い合わせ		TEL06-6539-3303
	インフォメーション		TEL06-6539-3300
旭図書館	〒535-0003	旭区中宮1-11-14	TEL06-6955-0307
阿倍野図書館	〒545-0052	阿倍野区阿倍野筋4-19-118	TEL06-6656-1009
生野ライブラリー（生野図書館）	〒544-0021	生野区勝山南4-7-11	TEL06-6717-2381
北図書館	〒531-0074	北区本庄東3-8-2	TEL06-6375-0410
此花図書館	〒554-0014	此花区四貫島1-1-18	TEL06-6463-3463
島之内図書館	〒542-0082	中央区島之内2-12-31	TEL06-6211-3645
城東図書館	〒536-0005	城東区中央3-5-45	TEL06-6933-0350
住之江図書館	〒559-0015	住之江区南加賀屋3-1-20	TEL06-6683-2788
住吉図書館	〒558-0041	住吉区南住吉3-15-57	TEL06-6606-4946
大正図書館	〒551-0003	大正区千島2-6-15	TEL06-6552-1116
鶴見図書館	〒538-0052	鶴見区横堤5-3-15	TEL06-6913-0772
天王寺図書館	〒543-0037	天王寺区上之宮町4-47	TEL06-6771-2840
浪速図書館	〒556-0015	浪速区敷津西1-5-23	TEL06-6632-4946
西成図書館	〒557-0041	西成区岸里1-1-50	TEL06-6659-2346
西淀川こうのとり図書館	〒555-0012	西淀川区御幣島1-2-10	TEL06-6474-7900
東住吉図書館	〒546-0032	東住吉区東田辺2-11-28	TEL06-6699-7000
東成図書館	〒537-0014	東成区大今里西3-2-17	TEL06-6972-0727
東淀川図書館	〒533-0023	東淀川区東淡路1-4-53	TEL06-6323-5476
平野図書館	〒547-0043	平野区平野東1-8-2	TEL06-6793-0881
福島図書館	〒553-0006	福島区吉野3-17-23	TEL06-6468-2336
港図書館	〒552-0003	港区磯路1-7-17	TEL06-6576-2346
都島図書館	〒534-0027	都島区中野町2-16-25	TEL06-6354-3229
淀川図書館	〒532-0025	淀川区新北野1-10-14	TEL06-6305-2346

令和7年3月20日発行

こどものほんだな2025

編集兼発行者 大阪市立中央図書館 利用サービス担当
 発行所 大阪市立中央図書館
 〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2
 TEL 06-6539-3301

大阪市立図書館ホームページ
<https://www.oml.city.osaka.lg.jp/>



OSAKA
MUNICIPAL
LIBRARY